

ボウリング競技実施要領（知的）

1. 競技規則

平成31年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（（公財）日本障がい者スポーツ協会制定）及びボウリング競技規則（（公財）全日本ボウリング協会制定）によるもののほか、この要領に定めるところによる。

2. 競技方法

- (1) 試合の方法は、シングルレーン（同一レーンで投球）方式で行う
- (2) 競技は全て2ゲームトータル使用し、スクラッチ（ハンディなし）2ゲームとしその合計得点より順位を決定する。
- (3) 順位は、男女別、年齢区別、組別に決定する。
- (4) 隣り合ったレーンで、同時に投球姿勢に入った場合は、右側レーンの選手を優先する。

3. 競技服装等

- (1) 服装はボウリング競技を行う上で支障のないものを着用する。
- (2) 必ずソックスをはくこと。
- (3) 番号布（ゼッケン）は競技服の上着の背部に付けること。

4. 招集

- (1) 招集は各ボウラーズベンチで行う。原則として競技開始時間の10分前とする。
- (2) 競技時間は、進行の都合により変更になる場合があるので、放送や係員の指示に十分注意すること。
- (3) 競技開始時間（シフトにより放送案内時間）にボウラーズベンチにいない場合は、棄権したものとみなし競技に出場できない。

5. 表彰

- (1) 競技終了後各組ごとにおこなう。
- (2) 表彰式が終わるまでベンチを離れてはならない。
- (3) ハウスボールは、所定の位置から選び競技終了後は元の場所に返却すること。

6. その他

- (1) 選手は、競技中ボウラーズベンチを離れてはならない。やむを得ず離れる場合は、必ず係員に申し出ること。
- (2) 競技会場のハウスシューズを使用する選手は、参加申込書に記入し、申し込みをすること。ハウスシューズの使用料金は、実費とする。